

成年向

舞織尽

～まおりづし～



「あっ…はあああっ…!!はあっ…はあっ…はあ…はあ…はあ…」

傷つき敗れ、冷たい地面に横たわる巫女。
白衣は乱れ、緋袴はめくれ上がり、
びんと立った乳首が、少女とは思えぬ熟れた肢体が、無情に晒され続けている。
力を使い果たし、己の恥ずかしい姿を隠すことさえできない。
ただ苦悶の表情を浮かべ、喘ぐのみ。

舞織の戦いは終わった。
しかしそれは、屈辱と快楽の、ほんの始まりに過ぎなかった…。





「んあぁっ…！やぁっ…おっぱいいいっ……！ あぁぁっ、ダメ…で…す……っ！！」
男の無骨な手が、舞織の豊満な乳房をわしづかみにし、乱暴に揉みしだく。
拒絶の言葉も、抵抗の意志も、強い力に押さえつけられ意味を成さない。
「はぁっ…あぁあ!!! いやっ…助けて…!!! たすけ……っあぁ!!!」

逃れようのない恥辱と絶望に顔を歪めながらも、舞織は身体の中がどんどん熱くなってくるのを感じていた。





卑猥で汚れた肉棒が、い顔に突きつけられる。
舞織は、恐る恐るそれを手に取り、ゆっくりと舐め始めた。
最初は先端をつつくように、しだいしだいにしゃぶりつく…。
ぺちゃぺちゃと音を立てながら、いやらしく、時折声が漏れる。

「ん……つく…あふう……ふはあつ……ふえ…」

濃密なご奉仕は、あたかもその時間が永遠であるかのような錯覚を与えながら
ただひたすらに続いていった。





「んっ…んーっ…！んううっ！！……………っふ……………う…う…っ…っ！！」
啜えたままの龟头から、白濁液がみるみる溢れ、勢い良く発射される。
口内で受け止めきれず飛び散ったそれは、顔に、胸に、髪に絡みつく。

生温かい感触に、思わず身体が反応した刹那、
周囲のモノたちも欲望を爆発させ、シャワーを一齐に浴びせかける。

いつ終わるとも知れない、性欲の宴。
精液にまみれ……もう何も、考えられなかった。



ちゅっ

ちゅ

ちゅ

「まおりんのおっぱい、今日もやわらかあい♥ もお、めっちゃくちゃにしちゃうからねっ♥」

「わ…すごい、舞織……こんな、びくびくのぐしょぐしょ……！」

放課後の教室での秘密のふれあい。

親友の指先が、全身を愛撫し、乳首を弄り、秘部をまさぐる。

恥じらい、昂ぶる私を興味津々で眺めるのは、もう一人の友。

その視線を意識するだけで、また吐息が荒くなる。

いけないことだと、分かっているのに。身体は、嘘をつけない…。





「っあぁ……ぞ……んな……はい……くる……っ！ひやあぁあぁっ！！」

「んいっ……あアやあぁんっ！！なかで……うごいて……」

は……あ……えっ……うっ……！んひい……い……っ！！」



契約者の合図と共に、無数の鋼の剣が舞織を襲い、磔にする。
瞬間、鋭い刃が装束を引き裂き、舞織は己のすべてをさらけ出す。

「~~~~~!!!」

あまりの恥ずかしさに、頭の中が真っ白になり声も出せない。
ひたすら頬を赤らめ、涙を浮かべる舞織。

生まれたままの姿で、何の抵抗もできず、
この後に待つさらなる辱めを、ただ、受け容れるしかなかった…。



「ふああっ……あああ…!! ミルク…ミルク出ちゃう…!!
でちゃいます…う…う…っひゃあああん……っ!!」

「えああ…っ! そ…んな…びゅびゅううって……!!
や…あ…止まらな…い……あはあああっ!!」

「あっやああ…見ないで…見ない…れえええっ!」
「ひああ!! だめえええ…っ!! イクう! イっ…ちやうううっ!!」

静かな境内に、パイプの振動音と喘ぎ声だけが響く。
性感帯を無理やりに刺激され、少女は絶頂に達する。神に仕える立場にありながら、その神の御前で……。
かつてない恥じらい、罪悪感とともに、穢れを知らぬ処女にとって未知の快感が、否応もなく押し寄せる。

巫女はただ悶え続ける。
びくんびくんと音が聞こえそうなほど、両の脚を痙攣させ、
この仕打ちを与えた者のいやらしい眼差しに、身をよじらせながら。



「え…！？ あっ…嫌ああ！！ やめてえええっ！！ いやあ…嫌あああああああっ！！」
「いやああっ…ひぐっ、んむう！！ んーっ！！ んんーっ！！」

突然、二人組の男に捕らえられ、衣服を剥がされ、淫らに、強引に撫で回される。
望まぬまま濡れてゆく、ピンク色の恥部。

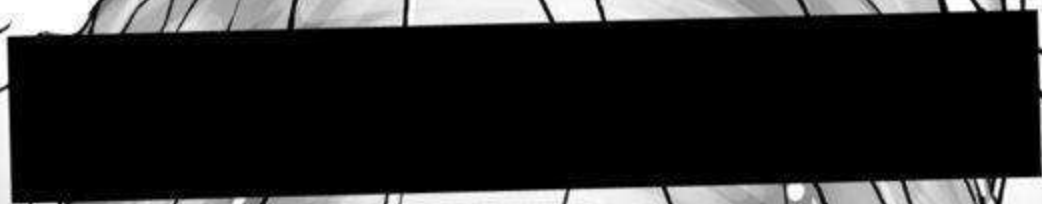
男の一人が、そこへ容赦なくペニスを挿し込む。
泣き叫び悲痛な声をあげる口を、もう一人の性器が塞ぐ。
涙で潤んだ瞳から、徐々に光が失われていく。

そして少女は、男共の欲望のまま弄ばれ、純潔を無残に散らす……。



「やあああ、なかにいいっ!!
あああ、ダメええっ!それだけは……だめえ……っあひいああんっ!!」

「あ……はああっ……イヤああ……ださないでえええ……!!
やああっ……あっあっあああああ!!!」



後記

皆様はじめまして。「たーぱにすと」の popo と申します。
この度は、「舞織尽」をお手に取っていただきありがとうございました！

さて、巷では「アルカナハート 2」が絶賛稼動中ですがそれでも
実はこの本、「1」の本です。今更！？

さかのぼる事一年半前、某誌の「1」の初報記事で舞織さんに一目ぼれ、
即行「よっしゃああ本作るぜええええ！！」と決意したまではよかったのですがね…
未熟ゆえ思いっきり時間がかかってしまい、今の今まで延び延びに orz
稼動前後の、世間一般の盛り上がりには混じれなかったのがとっても心残りです…。

でも時間をかけた分、ひたすら個人的な趣味に走って見たつもりですよ。
(かなり非道いシチュエーションも多いので、
お肌に合わなかった方にはお詫び申し上げます)

しかし、一冊まるまる舞織オンリーですよ。
元々巫女さん属性があったわけじゃないのに
ここ1年原稿用紙に舞織しか描いてないですよ。
(つか、彼女の影響でだんだん巫女スキュー度が上がってる気さえますw)

黒髪ロングにおしとやかな性格、そして
思わず DIVE してしまいたくなる破壊力抜群のおっぱいと、
彼女の魅力を挙げればキリがないのですが…

やっぱ一番はアレですね。

『脱衣 KO』

龍虎の拳 2 や KOF'94 あたりにハァハァしてた世代にとっちゃー
まさにど真ん中ストライクな演出でしたよ。

ただでさえ戦闘中に生足や二の腕がチラッと見えるだけでもエロスだというのに
あそこまでやられちゃあ転ばないわけにはまいりませんw
(この本でもネタにさせていただきましたw)

舞織のアレ、全キャラ通して見てもひとときエロス度高いんじゃないかと思いますよ。
一人用の時とか、舞織を使わずに他キャラで KO 狙いにいっちゃいますw

普段嚴重に隠されているものが露わになったときの、興奮とか背徳感とかその他もろもろ、
それも巫女さんの魅力の一つなのかもしれない…とか考えてみたり。
うーん、奥が深いです巫女道。

2はいまだにラスボスが倒せなくて最後まで見れてないのですが(^ ^ ;)、
エルザとの絡みはなんか好きですね。ほのぼのカップルな図を勝手に妄想していますw
オフィ絵のけしからなさば異常ですし、姉妹も相変わらず美味しいですし
まだまだ色々描けそうなかんじ。

次は夏コミに申し込んでますし、サイトも超スロー更新ですが運営中ですので
お暇があればまた見てやっていただけると嬉しいです。

それではこの辺で。

2008.4 popo 拜



奥付

「舞織尽～まおりづくし～」

2007.12.31 初版発行

第2版 2008.4.27/DL版 2009.1.26

発行：たーばにすと

発行者：popo

E-Mail：turbanist@hotmail.co.jp

URL：http://blog93.fc2.com/turbanist/



舞織尽

～まおりつゞし～

"ARCANA
HEART"
Fanbook

"KASUGA
MAORI"
Illustrations
Only

2007 Dec.

Presented

By

"TURBANist"

[For Adult]